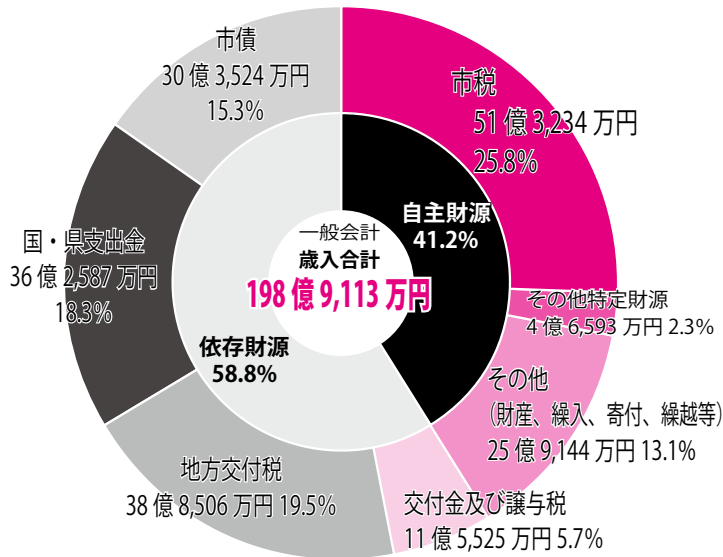


# 平成 29 年度 決算報告

皆さんに納めていただいた税金が、この1年間でどのように使われたのか報告します。 図 財政課 財政係

## 【歳入】

総額 **198 億 9,113 万円**

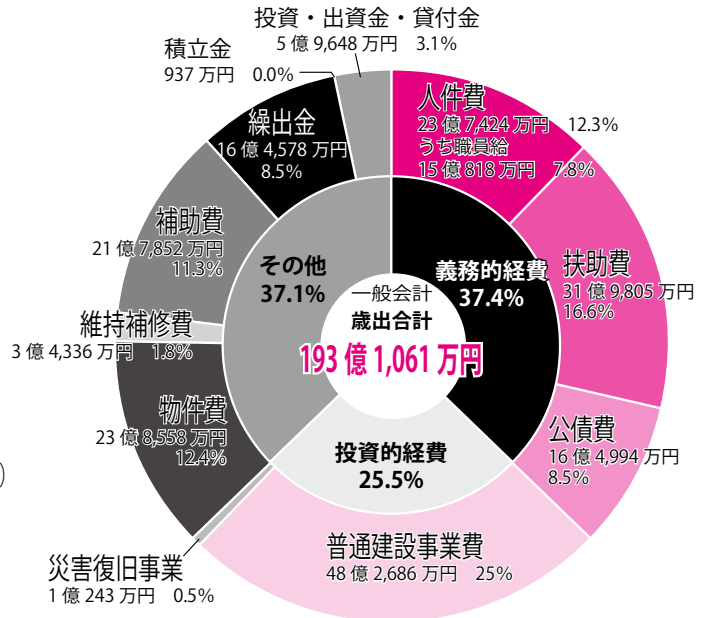


前年度比 **19 億 1,901 万円**の増

歳入のうち最も多いのは、市税(51 億 3,234 万円)で、次に多いのは地方交付税(38 億 8,506 万円)。平成 29 年度は、特に市債の借入が増加した影響で、依存財源の比率が前年に比べて 1.7% 上昇しています。

## 【歳出】

総額 **193 億 1,061 万円**

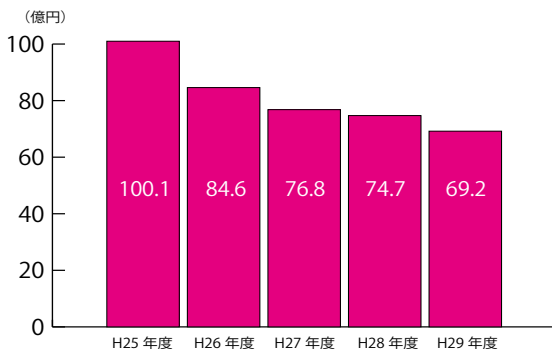


前年度比 **23 億 2,424 万円**の増

歳出のうち、扶助費は高齢化の影響により高い水準となっています。平成 29 年度では、浅間南麓こもる医療センターへの補助金の影響により、普通建設事業費が前年度比 20 億 810 万円の増となりました。

## 【基金の残高】

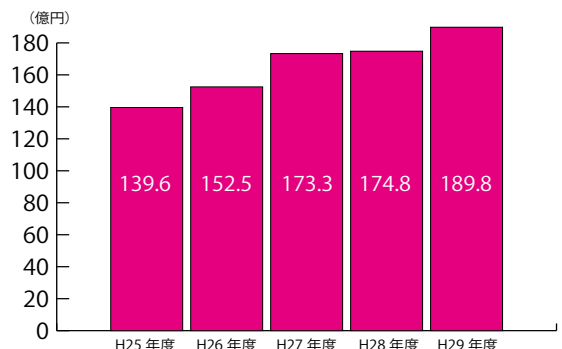
(貯金)



平成 29 年度は、財源不足を補うための取崩しと、企業立地推進事業等の地域活性化に資する事業財源のために取崩しをしたため減少しています。

## 【市債の残高】

(借金)



平成 29 年度の主な借入理由として、野岸小学校改築工事、浅間南麓こもる医療センターへの新築補助金等が挙げられます。

棒グラフの表は、直近 5 年分の市債と基金残額の推移を表しています。平成 29 年度の一般会計 (円グラフ) と合わせて見ると、約 5 億円の黒字に見えても借金が増えていることがわかります。その理由は、毎年の借金返済に必要な額 (公債費) よりも平成 29 年度にお金を借り入れた額の方が多かったためです。簡単に言い換えると、返す額より借りた額の方が多いということです。一般のご家庭で例えるなら、車や家をローンで買った場合に、借金が増えるのと同じ考え方です。